

九州・山口地域の地方創生に向けた 社会資本整備等について

九州・山口地域は、自動車や半導体関連等の輸出型産業が集積し、多彩な観光資源や農林水産資源等を有している。今後、地方創生を推進していくためには、こうした産業・観光資源等を最大限活用し、「九州・沖縄地方成長産業戦略」をはじめとする産業振興施策を進めることにより、地域経済を持続的に成長させていくことが何よりも重要である。

このため、発展の基盤となる高規格幹線道路や新幹線等の循環型高速交通ネットワーク等の社会資本を速やかに整備する必要がある。

また、道路、鉄道や離島航路等のネットワークをはじめ、河川、砂防、港湾施設等の社会資本は、住民の生命・財産を守る重要なインフラであり、迅速かつ着実な整備が望まれる。

特に、九州・山口地域は、離島や半島等の条件不利地域が数多く存在し、近い将来、南海トラフ地震の発生が懸念されている。

加えて、中央自動車道笹子トンネルの悲惨な事故を教訓として、生活や経済の基盤である社会資本が機能的に維持されるよう、様々な施設の老朽化対策を進めることも極めて重要な課題である。

九州・山口地域の一体的な発展に向け、必要な社会資本の迅速かつ計画的な整備と適切な維持管理・更新を可能にするため、国においては、必要な措置を講ずるよう求める。

1 高規格幹線道路・地域高規格道路の迅速かつ着実な整備

東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線、西九州自動車道、南九州西回り自動車道、那覇空港自動車道、山陰自動車道といった「高規格幹線道路」のミッシングリンクの早期解消や、高規格幹線道路を補完し、地域の交流・連携・連結機能を強化する中九州横断道路や下関北九州道路等の「地域高規格道路」の整備促進に必要な予算総額を確保し、事業中区間の早期供用、並びに未着手区間の早期事業化を図ること。

また、高規格幹線道路の暫定2車線区間については、交通状況や地域の実状を踏まえ、4車線化を早期に実現すること。

2 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の整備促進

武雄温泉～長崎間（肥前山口～武雄温泉間の複線化事業を含む。）の工期短縮を図り、九州新幹線西九州ルートの開業時期を平成34年度から可能な限り前倒しすることとし、早期完成・開業に向けて整備を促進すること。

山陽新幹線への乗り入れが可能となるフリーゲージトレインの早期の実用化に向けて技術開発を進めるとともに、時速300キロを目指して技術開発を継続すること。

また、開業に向けた地元の一層の機運醸成を図るため、「九州新幹線西九州ルート」に名称を統一すること。

3 東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

新幹線は、安全でエネルギー効率に優れ、大量輸送が可能な交通機関であるとともに、国土の均衡ある発展と地域の活性化の基礎となる高速交通基盤である。

国においては、東九州新幹線の早期整備が図られるよう、整備計画路線への格上げを行うとともに、所要の整備財源を確保すること。

4 社会資本の老朽化対策

今後、急速な老朽化の進行が見込まれる社会資本について、適切に維持管理・更新を実施していくための予算を継続的に確保するとともに、維持管理・更新に係る技術開発や技術者の育成を推進すること。

また、河川や港湾施設等の維持管理・更新に係る支援の対象を小規模な施設にまで拡大するとともに、国費率のかさ上げや起債充当対象の緩和等、財政措置の拡充を図ること。

5 離島航路への支援

離島航路は、本土における道路と実質的に同様の役割を果たしており、島民の日常生活の維持、地域振興の観点からも不可欠なものであることから、その維持を図るため、燃油価格の高騰等、経済環境の変化に対応可能な支援策を講ずること。

6 高速道路の長距離逓減割引の通算化

一部に無料区間が存在する東九州自動車道等では、料金の長距離逓減割引が通算されず、供用後も利用者が割高な料金体系を強いられていることから、長距離逓減割引の通算化等の適切な措置を講ずること。

平成27年6月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞